

エコアクション21

環境経営レポート 2023



Protect The Earth

再資源化で地球にやさしい環境を。

対象期間 2023年4月1日～2024年3月31日

発行日 2024年6月10日

株式会社 公衛社

環境活動レポート2024

目 次

1 事業活動の概要	P.1
会社概要	
実施体制	
許認可等の概況	
施設の状況	
2 環境経営方針	P.9
3 対象範囲	P.10
4 環境経営目標と実績	P.10
環境負荷の実績	
環境経営目標	
環境経営目標達成状況の評価	
環境経営計画の内容と活動評価	
5 環境活動の取組結果の評価・次年度の取組内容	P.14
6 環境関連法規の遵守状況の確認及び違反、訴訟等の有無	P.15
7 代表者による全体の評価と見直し結果	P.16

1 事業活動の概要

会社概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 公衛社
代表取締役 須貝 貴子

(2) 所在地

本社 新潟県村上市坂町1761番地11
関川支店 新潟県岩船郡関川村大字高田74番地
車庫 新潟県岩船郡関川村大字高田27番地1
リサイクルセンター 新潟県岩船郡関川村大字滝原97番地1
新発田支店 新潟県新発田市佐々木1794番地5

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 専務取締役 須貝和正
事務局連絡先 担当者 平田ちひろ
TEL 0254-62-5121 FAX 0254-62-5956
E-mail info@kes-e.com

(4) 法人設立年月日

昭和51年3月31日

(5) 資本金

5000万円

(6) 事業内容

再生資源物リサイクル業 し尿汲み取り業
一般廃棄物収集運搬業 浄化槽保守点検業及び浄化槽清掃業
一般廃棄物処分業(中間処理) 下水道処理施設維持管理業
産業廃棄物収集運搬業
産業廃棄物処分業(中間処理)

(7) 事業の規模

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売 上 高	百万円	443	446	453
収集運搬業	t	6,804.33	6,922.20	6,037.93
中間処理量		5,744.72	5,629.28	4,442.42
取扱量合計		12,549.05	12,551.48	10,480.35
従業員数	人	40	41	45
床 面 積	m ²	6,445.76	6,445.76	6,445.76

※収集運搬量には、し尿、浄化槽汚泥、一般ごみ、資源ごみ、有価物を含み、中間処理量には有価物、一般廃棄物、産業廃棄物を含む

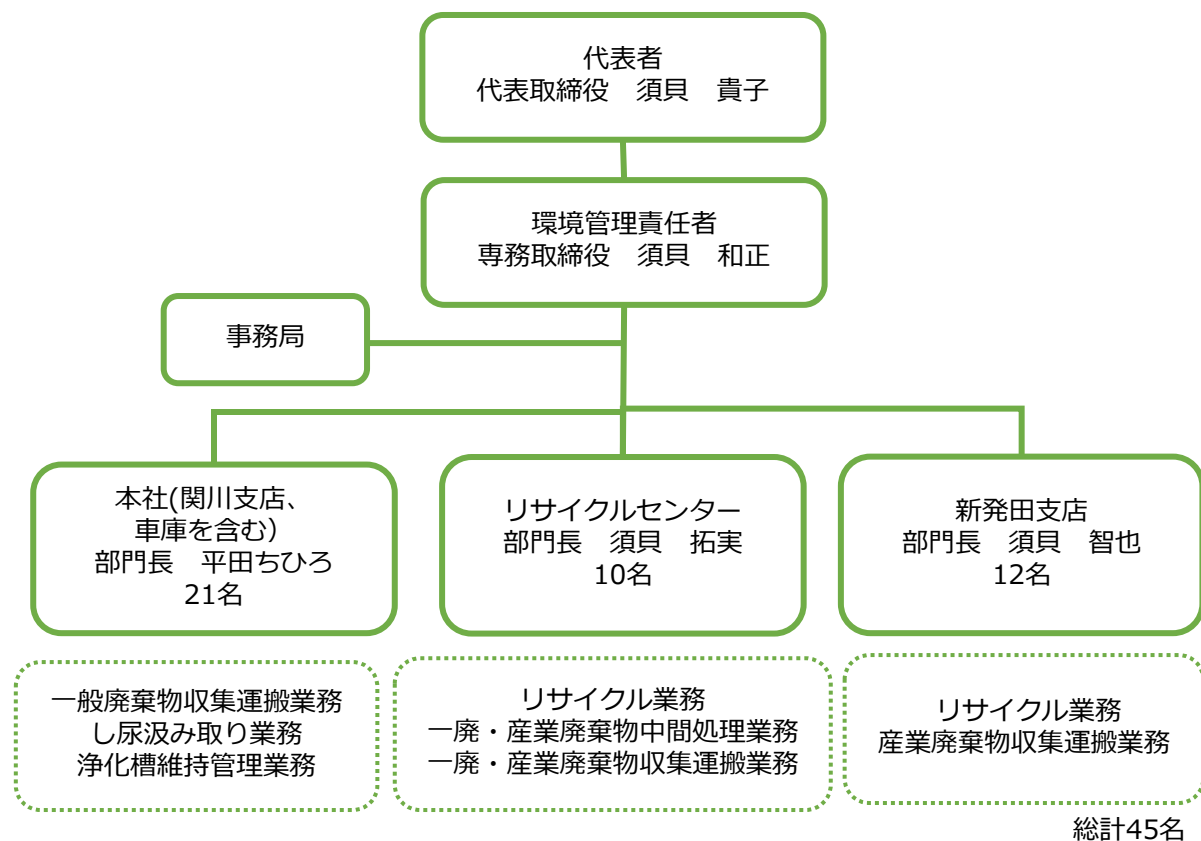
(8) 事業年度

4～3月

(9) 認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名	株式会社 公衛社	
対象事業所	本社	
	関川支店	
	車庫	
	リサイクルセンター	
	新発田支店	
活 動	再生資源物リサイクル業	し尿汲み取り業
	一般廃棄物収集運搬業	浄化槽保守点検業及び浄化槽清掃業
	一般廃棄物処分業(中間処理)	下水道処理施設維持管理業
	産業廃棄物収集運搬業	
	産業廃棄物処分業(中間処理)	

実施体制



職 名	役割・責任・権限
代 表 者	環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技能者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規などの取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営活動計画書を確認 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認 予防・是正措置の指示
部 門 長	自部門に関連する環境経営システムの実施 自部門に関連する従業員への環境経営方針の周知 自部門に関連する従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営目標及び環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に関連する必要な手順書作成及び運用管理 自部門に関連する緊急事態への対応手順書作成、試行(テスト)・訓練・記録 自部門に関連する問題点の発見、是正、予防措置の実施
事 務 局	環境管理責任者の補佐、EA21推進会議の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組み自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成 環境経営活動の実績集計 環境関連法規など取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規など取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)

許認可等の概況

産業廃棄物収集運搬業許可				
許 可 の 種 類	産業廃棄物収集運搬業			
自 治 体 名	新潟県		山形県	
優 良 認 定 業 者	優良		優良	
許 可 番 号	01511052373		0609052373	
許 可 年 月 日	令和2年5月29日		令和2年3月27日	
許 可 の 有 効 年 月 日	令和9年2月12日		令和9年3月26日	
事 業 範 囲	積替保管		積替保管	
	除く	含む	除く	含む
燃え殻	○		●	
廃酸	○		●	
廃アルカリ	○		●	
動植物性残さ	○		●	
銧さい	○		●	
動物のふん尿	○		●	
動物の死体	○		●	
ばいじん	○		●	
法施行令第2条第13号に規定する産業廃棄物	○			
廃プラスチック類	●	○	●	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	●	○	●	
がれき類	●		●	
汚泥	○	○	●	
廃油	○		●	
紙くず	○		●	
木くず		○	●	
繊維くず	○		●	
ゴムくず	○		●	
金属くず	○	○	●	
自動車等破砕物			●	
感染性産業廃棄物				●
廃石綿等				●
水銀使用製品産業廃棄物	○	○	●	
水銀含有ばいじん等	○	○	●	

○石綿含有廃棄物を除く

産業廃棄物 積替保管一覧

保管場所 ■新潟県岩船郡関川村大字滝原97番地1	保管面積	保管上限	屋内外
廃蛍光管(廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、金属くず)	2.25㎡	0.8㎡	屋内
廃乾電池(汚泥、金属くず)	2.25㎡	0.8㎡	屋内

※水銀使用製品産業廃棄物を含み、水銀含有ばいじん等を除く

保管場所 ■新潟県新発田市佐々木1794番地2	保管面積	保管上限	容器有無
廃機械器具・廃OA機器・建築廃棄物及び家具の不要物 (廃プラスチック類、木くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、金属くず)	22.8㎡	22.6㎡	容器内
廃プラスチック類	24㎡	43.2㎡	容器内
木くず	26.4㎡	47.5㎡	容器内

※石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を除く

一般廃棄物収集運搬業許可

許可区域	許可番号	取扱廃棄物の種類	許可の有効期間	処理業務内容
関川村	住第445-1号 住第446号	一般廃棄物 特別管理一般廃棄物 浄化槽汚泥	令和6年4月1日 令和8年3月31日	収集運搬(積替保管む) 浄化槽清掃
村上市	R6収第3号 第2号	ごみ し尿 浄化槽汚泥	令和6年4月1日 令和8年3月31日	収集運搬(積替保管む) 浄化槽清掃
胎内市	指令第9号 指令第2号	し尿 浄化槽汚泥	令和6年4月1日 令和8年3月31日	収集運搬 浄化槽清掃

産業廃棄物処分業許可

許可区域	許可番号	許可の有効期間	事業の範囲
新潟県 優良認定	01521052373	令和2年5月29日 令和9年2月12日	中間処理 破碎処理/溶融固化処理/圧縮処理/圧縮梱包 処理/選別処理

一般廃棄物処分業許可

許可区域	許可番号	取扱廃棄物の種類	許可の有効期間	処理業務内容
関川村	住第445-2号	一般廃棄物	令和6年4月1日 令和8年3月31日	一般廃棄物の中間処理 溶融固化/圧縮梱包/破碎/ 溶解/選別

引取業・フロン回収業者登録

許可区域	登録番号	登録種別	登録年月日 有効年月日
新潟県	15110018	第一種フロン類充填回収業者登録	平成14年3月19日 令和9年3月18日
新潟県	20152000031	フロン類回収業者登録	平成14年6月19日 令和9年6月18日
新潟県	20151000031	引取業者登録	平成14年6月19日 令和9年6月18日

浄化槽保守点検業者登録

許可登録	登録番号	営業区域	有効期間
新潟県	新潟県知事(登)09第104号	関川村／村上市(旧荒川町) 胎内市(旧中条町)	令和2年12月26日 令和7年12月25日

事業計画の概要

- ◆全体計画
社会経済活動で発生する再生資源物及び廃棄物(産業廃棄物及び一般廃棄物)の収集運搬業務、リサイクル業務並びに中間処理業務(破碎、溶融固化、溶融、圧縮、圧縮梱包及び選別)を行うなかで資源回収を積極的に進め循環型社会の構築に寄与します。
- ◆収集運搬業務・浄化槽維持管理及びし尿汲取り業務
収集運搬業務においては、再資源化のため可能な限り種類、品質ごとに分別し収集運搬に努めます。また、し尿及び浄化槽汚泥を処理センターへ運搬。
- ◆リサイクル業務及び中間処理業務
リサイクル業務及び処理業務においては、再生資源物及び受託廃棄物の種類、品質に応じて適切に分別、中間処理を行うことにより、再生資源物及び受託廃棄物の再資源化率の向上並びに処理提案を積極的に推進します。

施設の状況

運搬施設

事業所	運搬車両の種類	積載量	台数
リサイクルセンター	クレーン付トラック	2.35 t	1
	脱着装置付ダンプ	3.90 t	1
	パワーゲート付ダンプ	2.00 t	1
	パッカー車	2.05 t	1
	パッカー車	3.05 t	1
	パッカー車	3.25 t	1
	パッカー車	3.10 t	1
	ヒアブ車	6.20 t	1
新発田支店	トラック	6.20 t	1
	脱着装置付ダンプ	3.80 t	2
	パワーゲート付トラック	2.00 t	1
	パッカー車	2.00 t	1
本社	バキューム車	3.70 t	5
	バキューム車	1.80 t	1
	軽浄化槽巡回車	0.35 t	5

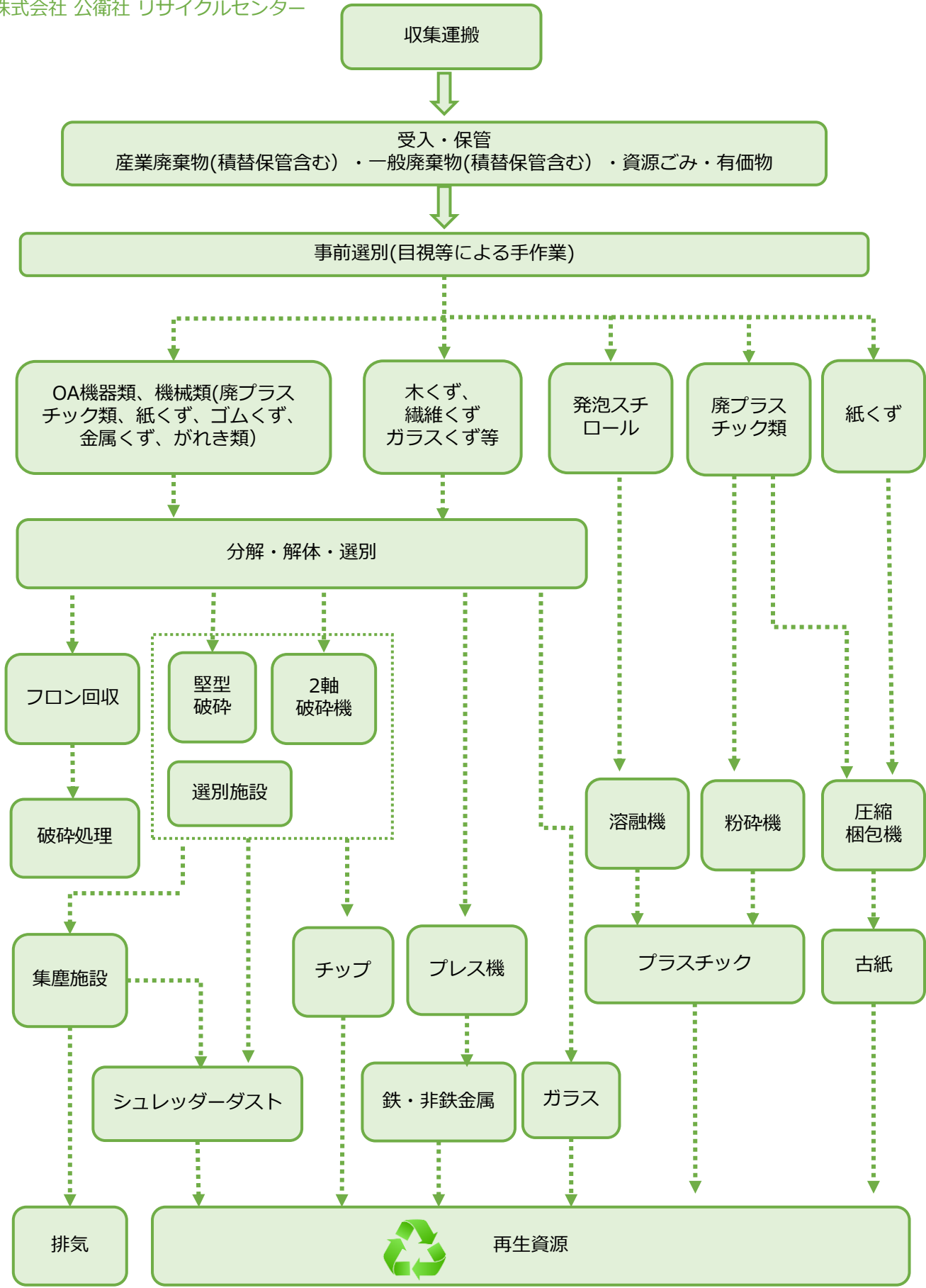
処理施設及び加工施設

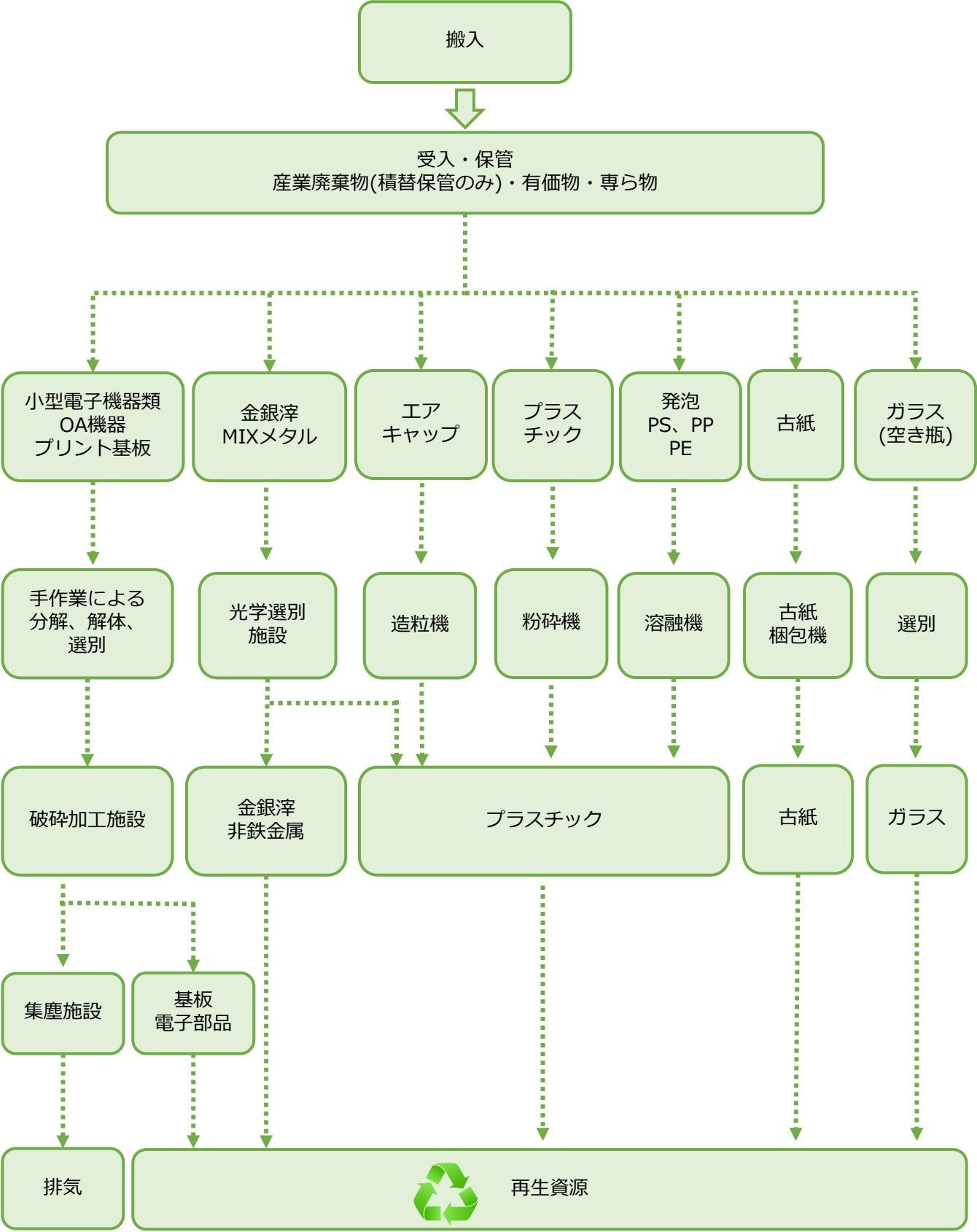
リサイクルセンター

施設の種類	設置年月	処理能力	設置許可番号
破砕処理施設	平成10年9月	廃プラ32 t /日(8時間)	(産廃)芝保第37号 (一廃)芝保第1号
破砕処理施設	平成11年5月	2 t /日(8時間)	
破砕処理施設	平成12年12月	廃プラ172.8 t /日(8時間)	(産廃)芝保(環)第8518号
		不燃,粗大ごみ 273.8 t /日(8時間)	(一廃)芝保5号
		木くず101.6 t /日(8時間)	
圧縮処理施設	平成11年10月	18.4 t /日(8時間)	(一廃)芝保第3号
圧縮梱包処理施設	平成11年8月	15 t /日(8時間)	(一廃)芝保第4号
選別処理施設	平成12年12月	96 t /日(8時間)	
圧縮処理施設	平成12年12月	5 t /日(8時間)	
溶融固化処理施設	平成29年4月	0.4 t /日(8時間)	

新発田支店

施設の種類	設置年月	能力	総容量
古紙梱包機	平成19年7月	8 t / h	102kw
破砕加工施設	平成22年2月	1.5 t / h	105kw
溶融固化機	平成22年2月	50kg/ h	13kw
造粒機	平成22年2月	30kg/ h	15kw
粉碎機	平成30年9月	200kg/ h	15kw
光学選別装置	令和2年3月	0.5kg/ h	49kw





環境経営方針

基本理念

株式会社公衛社は、環境保全活動の必要性が人類共通の重要課題であることを認識し、事業活動を通じて発生する環境負荷の削減に努めることにより、地球環境との共生・調和をめざし、その実現に取り組みます。

方 針

- 1、 当社はすべての事業活動を通じて、環境に与えている影響を捉え、技術的、経済的に可能な範囲で環境目標を定め、全社員が参加して環境活動の継続的改善を推進します。
また、必要に応じ見直します。
- 2、 環境関連の法規、条例及び当社が承認した協定等を遵守し、環境汚染の予防に取り組みます。
- 3、 具体的取組内容
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ② 水使用量の削減
 - ③ 廃棄物排出量の適正管理
 - ④ 化学物質使用量の適正管理
 - ⑤ リサイクル製品の品質向上(クレーム削減)
- 4、 環境教育、訓練、社内広報活動の実施により全従業員に環境方針を周知徹底させるとともに環境保全に関する意識を高め、社内における環境保全状況の認識知識の向上を図ります。

制定日 2007年3月20日

改訂日 2020年4月1日

株式会社 公 衛 社

代表取締役 須貝 貴子

3 対象範囲

対象事業所・適用事業所

全業務及び全事業所を対象としている

4 環境経営目標と実績

環境負荷の実績

目 標 項 目			2021年(15年目)	2022年(16年目)	2023年(17年目)	
	購入電力		kWh	288,958	289,061	276,188
			Kg-CO ₂	132,054	132,100	126,218
化石燃料	ガソリン	L	7,315	7,843	8,003	
		Kg-CO ₂	16,971	18,196	18,568	
	軽油	L	50,376	51,717	47,609	
		Kg-CO ₂	129,971	133,429	122,830	
	灯油	L	861	579	985	
		Kg-CO ₂	2,144	1,442	2,453	
二酸化炭素排出量		Kg-CO ₂	281,140	285,167	270,069	
総排水量		m ³	286	288	278	
リサイクル処理 及び中間処理量		t	5,744	5,629	4,442	
リサイクル量		t	5,741	5,626	4,439	
廃棄物排出量		t	3.13	2.56	2.82	
リサイクル率		%	99.9	99.9	99.9	

※1 リサイクル量は、受託産業廃棄物の中間処理及び再生資源物のリサイクル処理で回収した資源の量
廃棄物排出量は、売却及び再生処理した量を除く

※2 購入電力の二酸化炭素排出係数は、2020年東北電力の調整後排出係数0.457kg-CO₂/kWhを使用

※3 化学物質の適正管理については、数値で表せないのに記載していません。

環境経営目標

2021年より、2020年実績を基準年に変更し、3年間で0.3%削減を目標に取り組んでいく

目標項目			基準年 2020年実績	2021年		2022年		2023年	
購入電力	kWh		293,772	293,478	-0.1%	293,184	-0.2%	292,890	-0.3%
	Kg-CO ₂		134,253	134,119	-0.1%	133,984	-0.2%	133,850	-0.3%
化石燃料	L		56,731	56,674	-0.1%	56,617	-0.2%	56,561	-0.3%
	Kg-CO ₂		144,337	144,192	-0.1%	144,048	-0.2%	143,904	-0.3%
二酸化炭素排出量削減 (Kg-CO ₂)			278,590	278,311	-0.1%	278,032	-0.2%	277,754	-0.3%
水使用量削減(m ³)			355	354	-0.1%	354	-0.2%	353	-0.3%
廃棄物排出量削減(t)			3.92	3.92	—	3.92	—	3.92	—
リサイクル率の向上(%)			99.9	リサイクル率99%以上を維持					
化学物質の適正管理			化学物質の定期的チェックを年2回(9月、3月)行う						
注記：購入電力の二酸化炭素排出係数は、2020年東北電力の調整後排出係数0.457kg-CO ₂ / k W hを使用した。									

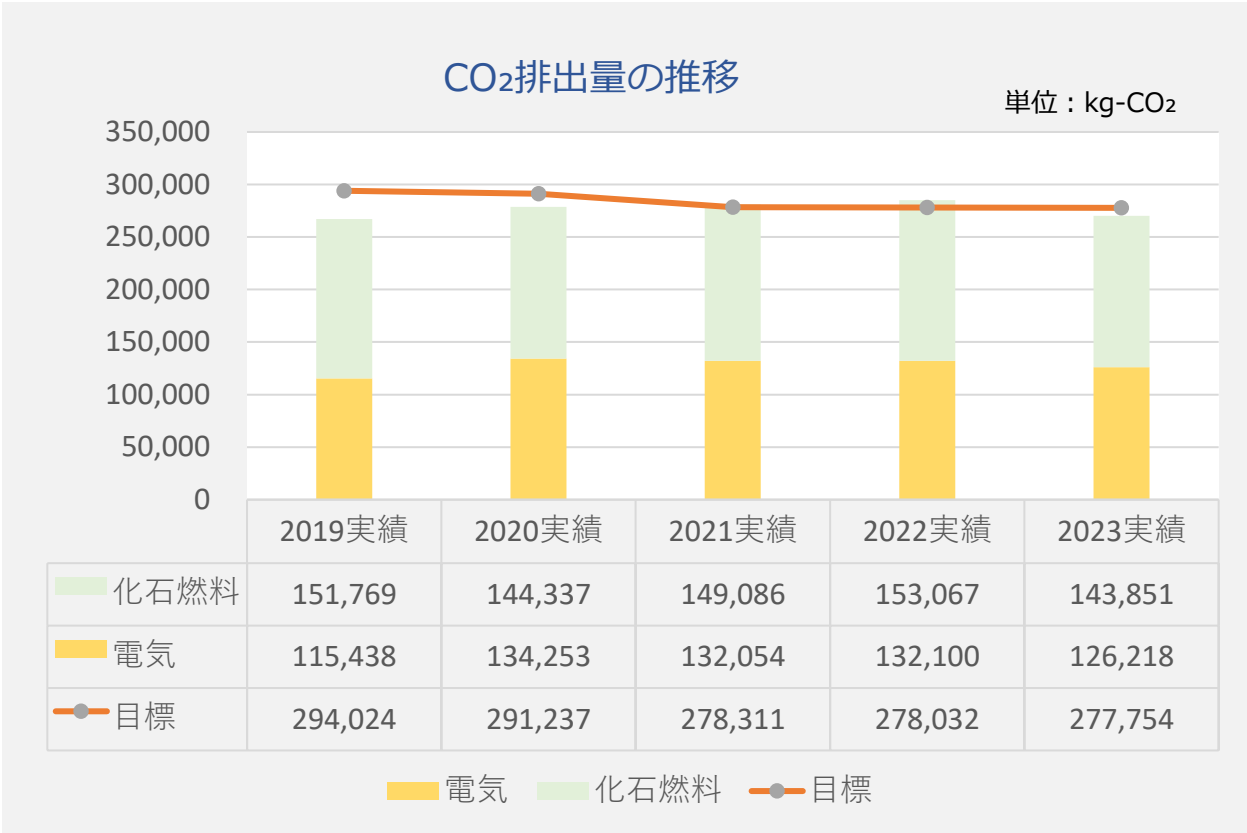
環境経営目標達成状況の評価

環境経営目標達成状況

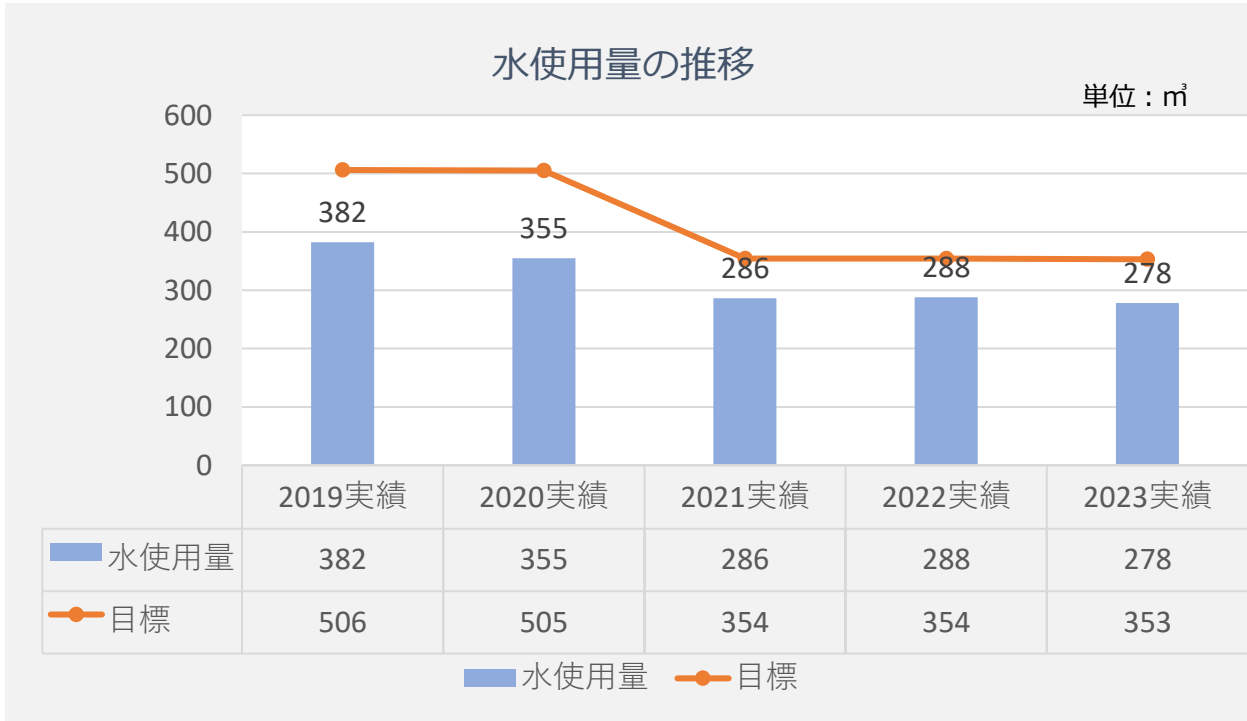
目標項目 (単位)	2020年 基準年	2023年4月～2024年3月									
		目標				実績				削減率 (%)	評価
		リサイクル	新発田	本社	計	リサイクル	新発田	本社	計		
購入電力 (kg-CO ₂)	134,253	58,116	67,356	8,378	133,850	61,886	60,394	3,938	126,218	-5%	○
化石燃料 (kg-CO ₂)	144,337	67,017	29,381	47,506	143,904	64,970	28,651	50,230	143,851	0%	○
二酸化炭素排出 量(kg-CO ₂)	278,590	125,133	96,737	55,884	277,754	126,856	89,045	54,168	270,069	-2%	○
水使用量 (m ³)	355	77	181	95	353	45	160	73	278	-21%	○
廃棄物排出量 (t)	3.92	0	3.92	0	3.92	0	2.82	0	2.82	-28%	○
リサイクル率の向上 (%)	99.9	リサイクル率99%以上を維持				100	99.8	—	99.9	—	○
化学物質の 適正管理(kg)	—	化学物質の定期的チェックを年2回行う (9月、3月)				ほう素化合物				—	○
						期首在庫	購入	使用	期末在庫		
						15.81	87.45	88.58	14.68		

※評価基準 ○：目標値に対して5%増未満
×：目標値に対して5%増以上 是正処置が必要

過去5年間の目標達成状況
(全社)



※年間比較のため過去の二酸化炭素排出係数も2020年調整後排出係数0.457kg-CO₂/kWを使用



環境経営計画の内容と活動評価

項目		活 動 内 容	評価	活 動 内 容	評価
消費エネルギーの削減	購入電力	事務所、トイレ、工場、屋外の不要照明の消灯、昼休み時の消灯	5	破碎機、粉碎機、プレス機、梱包機のメインブレーカーは作業終了時に遮断する	5
		室内温度の適正化(夏季28℃、冬季20℃)	4	ブラインドを利用し、外気の暑さ寒さを遮断する	5
		エアコンフィルターの定期的な清掃	4	クールビズ、ウォームビズの実施	5
		パソコン、コピー機等の省電力設定、不要時には主電源を切る	5	ピーク電力の削減(破碎機、粉碎機、プレス機の同時使用はしない)	4
		インバーター付の機器は適正回転数制御に努める	5	不要照明の取り外し	2
		コンプレッサーは必要十分なライン圧力に低圧化し、作業終了時にはブレーカーを遮断する	5	エアコンと扇風機を併用しエアコンを効率的に使用する	5
		コンプレッサーのエア配管のエア漏れチェック	5	不要コンセントの取り外し	5
		破碎機の負荷の適正化、効率化を図る(投入量を適正量にコントロールする)	4	エアコンの室外機に日よけを付ける	4
		必要最小限の印刷物作成に努める	5		
	化石燃料	車両の効率的な運行経路の選定及び運行の平準化を図る	4	暖房機器の不在時の消火	5
		車両の駐車中、待機中、積込、積下ろし時のアイドリングストップ	4	暖房機器使用時に扇風機を利用して室内が効率的に温まるようにする	5
		車両のエコ安全ドライブを推進	4	ファンヒーターのフィルター清掃	5
		フォークリフトでの構内横待ち作業の削減に努める	5	バックホーのアクセル適正化	5
総排水量の削減	手洗い時、洗い物、社内清掃等において、日常的に節水に努める	5	消雪時の散水、熱中症防止対策の散水は適量調整を実施	5	
	必要最小限の洗車に留め、洗車時には節水に努める	5	粉塵防止等の散水は流しっぱなしにしない	5	
	定期的な漏水点検を行う	5			
リサイクル率の現状維持・廃棄物の削減	古紙、空き缶、空き瓶、ペットボトル、電池、インクなど分別・リサイクルに取り組む	5	社内のFAX使用は極力さけ、メールを活用する	5	
	電池購入時には1次電池から2次電池へ切り替えを進める	3	受入時の検収を行い、許可品目のみ受け入れを徹底する	5	
	コピー用紙、カレンダー等裏面使用に取り組む	5	使用済み封筒の再利用に努める	5	
	回覧、メールを利用し、コピー配布を減らす	5	分離槽は月1回点検し、浮いてるゴミ回収を行う	5	
	必要以上のカタログ、サンプルなどを手に入れないよう心がける	5	異物混入を防止するために排出業者への啓蒙活動に努める	5	
	詰替え製品があるものは詰替え品を購入する	5	FAXは画面で確認し、必要なものだけを印刷する	5	
	WDS、SDSなどの活用による受入廃棄物の物性、有害情報などの把握に取り組む	5	常にリサイクルルート確保に努め、定期修理などの生産(受入)停止時の対応策をとる	5	
	リサイクル品使用先の生産計画などの変動要因の把握に努め、安定的な出荷先を確保する	5	リサイクル品使用先の受入品質を常に把握し、品質確保に努める	5	
化学物質の適正管理	PRTR法対象化学物質の使用有無を確認(9、3月)	5	フロンガス使用機器の点検を実施する	5	
	PRTR法対象化学物質の使用がある場合には、定期的に使用量及び残量を確認(9、3月)	5	PRTR法対象化学物質の使用がある場合には、SDSによる適切な管理を行う	5	
	PRTR法対象化学物質の使用がある場合には保管場所を定め、指定した場所以外に保管しない	5	PRTR法対象化学物質の使用がある場合には、代替品の有無について確認し代替品に切替えていく	5	

※評価基準 5：取組が大変良好 4：取組が良好 3：取組をほぼ行った 2：取組が不十分 1：改善が必要

5 環境活動の取組結果の評価・次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素の排出量の削減

2020年度実績を基準とし、2023年度は二酸化炭素0.3%の削減に取り組んだが、基準年度比でマイナス3%、目標値比でマイナス2%となり目標を達成することが出来た。増加の理由として災害対応にかかる車両の運行増加が一因と考えられる。アイドリングストップなど様々な取り組みを実施しているものの、車両の効率的な運行などになお一層の取組が必要である。

(2) 水使用量の削減

2020年度実績を基準年とし、2023年度は排水量を0.3%の削減に取り組み、基準年比、目標値比ともに21%減となり、目標を大幅に超えて達成することが出来た。日々の漏水点検の取り組みが確実に実施され、無駄な水使用の削減も実行されているため次年度以降も継続していく。

(3) 廃棄物排出量の削減

廃棄物削減においては、中間処理等に対する排出量は2020年度実績の3.92 t を基準とし2023年度は基準年比、目標値比ともに28%減となり、目標を大幅に超えて達成することが出来た。次年度以降も取り組みを継続していく。

6 環境関連法規の遵守状況の確認及び違反、訴訟等の有無

法規制一覧表を基に法令の遵守状況を自己点検した結果、環境関連法規への違反はありません。行政機関からの違反等の指摘、改善命令はありません。また、当社に対する地域住民からの苦情及び、訴訟についてもありません。

環境関連法規	遵守のための組織の取り組み	遵守
廃棄物処理法	産業廃棄物処分業、産廃、特管収集運搬許可変更・更新届出	○
	一般廃棄物処理業許可変更・更新届出	○
	処理施設設置許可・変更・軽微変更届出	○
	積替・保管基準(表示・飛散防止・浸透防止・衛生管理)	○
	新潟県産業廃棄物再生事業者登録、委託契約の締結、契約書、許可証の確認	○
	産業廃棄物収集運搬時の表示、マニフェスト、許可書の必携	○
	マニフェスト交付・受領・保管・交付状況等の報告	○
	県外産業廃棄物処理計画の事前協議	○
	優良産業廃棄物処理業者認定制度	○
家電リサイクル法	指定家電4品目の適正処理	○
自転車リサイクル法	製造業者等に使用済み自転車引渡し、リサイクル料金の支払い	○
	フロン回収業者登録	○
小型家電リサイクル法	小型家電のリサイクルを促進	○
グリーン購入法	環境物品の選択努力	○
フロン排出抑制法	第1種フロン類充填回収業者登録	○
	引取証明書の交付、保管	○
	フロン類の排出抑制	○
悪臭防止法	規制地域内で特定悪臭物質の排出基準を遵守	○
騒音規制法	規制基準を遵守、市町村に届出、公害防止に関する協議、協定	○
振動規制法	規制基準を遵守、市町村に届出、公害防止に関する協議、協定	○
新発田市公害防止条例	公害防止に関する協議、協定	○
関川村公害防止条例	公害防止に関する協議、協定	○
水質汚濁防止法	貯油施設から油の流出があった場合、応急措置を講ずる。県へ届出	○
浄化槽法	保守点検、清掃、定期検査の実施	○
	清掃業の許可変更・更新届出	○
	保守点検業の登録変更・更新届出	○
PRTR法	第1種指定化学物質取扱者は排出・移動量を報告(年間取扱量1 t 以上)	○
	SDSの所持	○
高圧ガス保安法	容器の定期検査	○
消防法	危険物貯蔵所、取扱所の設置許可	○
	消防の設備設置、点検、報告	○
計量法	取引に使用するはかりの定期検査、報告	○
古物営業法	営業許可	○

7 代表者による全体の評価と見直し結果

2023年度は新たな3ヶ年の取り組みを開始して3年目となりますが、目標計画に対する全体的達成度は、二酸化炭素排出量はマイナス2%、水使用量はマイナス21%、廃棄物排出量はマイナス28%と総合的に見て削減できた事は、高く評価します。個々の部門での効果的な取り組みを水平展開し、全社で一層の削減に向けた取り組みを継続してください。

2023年度はコロナ禍が完全に明け、リサイクル資源、物流の改善がみられるとともに総じて資源価格が上昇傾向にあり、好調な業績となりました。他方でロシアによるウクライナ進行の長期化、不安定な中東情勢など世界情勢が目まぐるしく変化し、また2023年6月には過去最大の円安にも見舞われるなど未来の予見が難しい状況が続いています。今後も情報収集に努め、影響を最小限にとどめるようにし、リサイクル率の低下や最終処分量の増加につながる事のないようにして下さい。政府が2030年に向けCO₂排出量実質ゼロを目標に掲げる中、市町村単位でも脱炭素関連の動きが活発化しており、今後自社でどのような取り組みが可能か検討していきます。